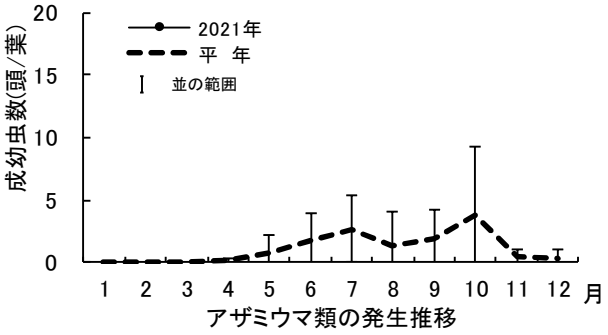
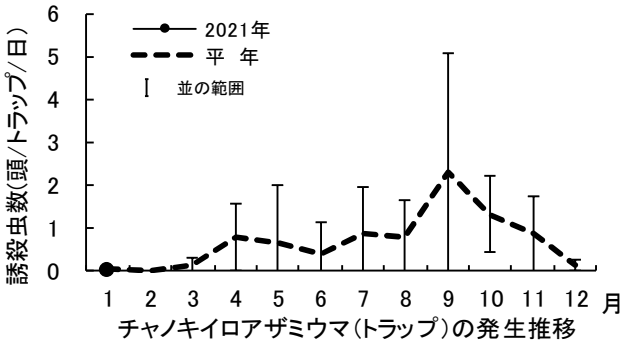
令和　2 年度　　2 月予報

作物	マンゴー	地域	八重山群島
病害虫名	チャノキイロアザミウマ		
調査結果	1 月の発生量（平年比）	ー	
予報	1 月からの増減傾向	ー	
	2 月の発生量（平年比）	ー	
予報の根拠			

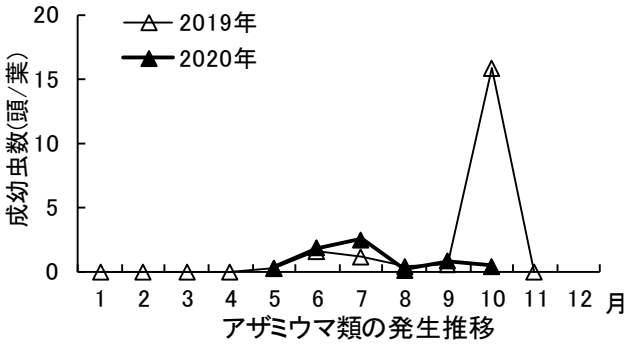
調査結果

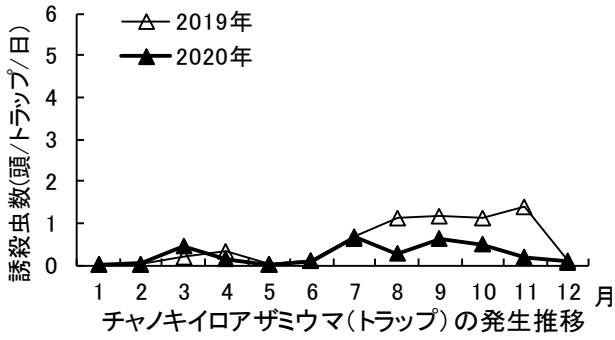
今期と平年の推移





過去２年間の推移





・新梢数が基準に満たなかったた１月の見取り調査データなし

防除のポイント

・開花期以降は本種が増加しやすいので、早期発見・防除に努める。
・開花中に薬剤散布を行う場合は、受粉昆虫に影響のない薬剤を選択する。
・薬剤抵抗性を発達させやすいので、同系統薬剤の連用を避ける。
・コミカンソウ類など、発生源となる施設内外の雑草を除去する。
・不要な新梢は、施設外に除去する。

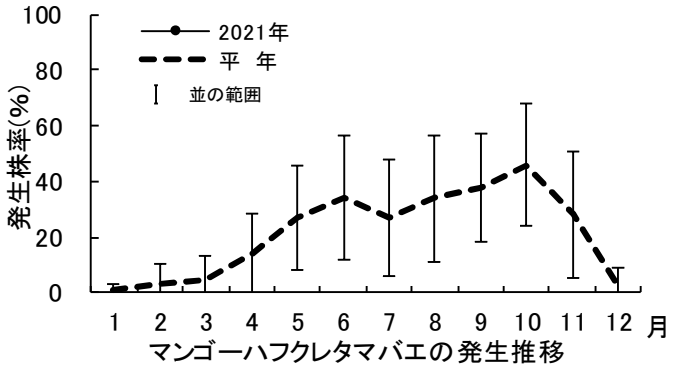
ナガエコミカンソウ

令和　2 年度　　2 月予報

作物	マンゴー		地域	八重山群島
病害虫名	マンゴーハフクレタマバエ			
調査結果	1 月の発生量（平年比）	ー		
予報	1 月からの増減傾向	ー		
	2 月の発生量（平年比）	ー		
予報の根拠				

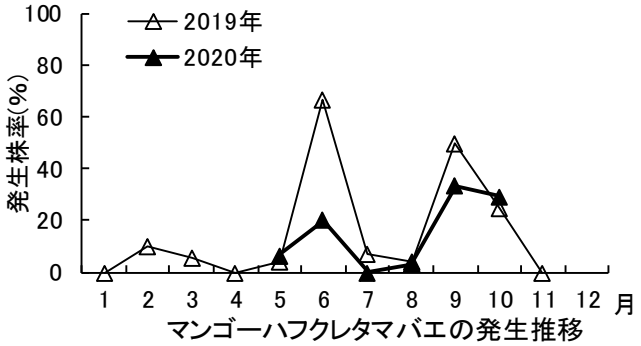
調査結果

今期と平年の推移



マンゴーハフクレタマバエの発生推移

過去２年間の推移



マンゴーハフクレタマバエの発生推移

・新梢数が基準に満たなかったため、１月の見取り調査データなし

防除のポイント

・幼虫は、新葉から新梢の軸までの柔らかい組織内に潜行して食害し、成熟すると飛び出し、地面に落下して蛹化する。

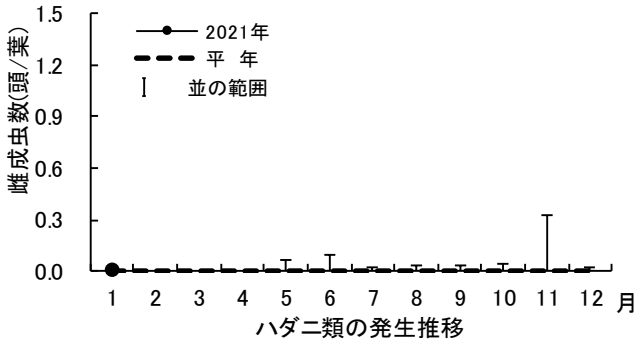
・不要な新梢は本種の発生を助長するので、早い時期に除去する。

令和　2 年度　　2 月予報

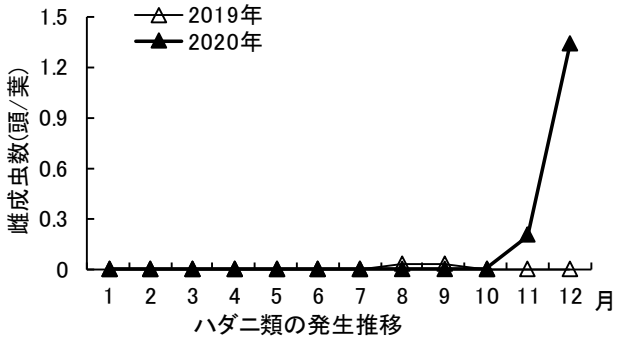
作物	マンゴー		地域	八重山群島
病害虫名	① ハダニ類		シュレイツメハダニ	
調査結果	1 月の発生量（平年比）	並		
予報	1 月からの増減傾向	→		
	2 月の発生量（平年比）	並		
予報の根拠		平年の発生量の推移（→）		

調査結果

今期と平年の推移



過去２年間の推移



- 発生種：シュレイツメハダニ
- 発生施設率：20%（平年値：20%）

防除のポイント

・薬剤抵抗性を発達させやすいので、同系統薬剤の連用を避ける。

ハダニの寄生による葉のかすれ症